札幌市文化芸術活動実態調査 調査票（団体・事業者向け）

札幌で文芸、音楽、美術、工芸、演劇、舞踊、メディア芸術、伝統芸能、アイヌ文化、生活文化、デザイン、建築、ファッションなどの文化芸術活動に携わる皆さまへ

札幌市では、文化芸術活動に関わる方々が新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることも踏まえて、文化芸術活動に携わられている方々の現状、課題及びニーズ等の実態を幅広く把握するためのアンケート調査を実施します。

調査結果は、札幌市が設置する「札幌文化芸術未来会議」等で、より効果的な短期及び中長期の文化芸術施策を検討するための基礎資料として活用します。また、調査結果報告書は、令和３年度以降、以下に示すウェブページで公開する予定です。

趣旨をご理解いただき、ご回答に協力いただきますよう、お願いします。

■この調査票の対象者

・団体・事業者向け調査の対象は、札幌市を主な活動の場として、文化芸術活動を行っている団体・事業者です。代表者またはそれに代わる方がご回答ください。

・法人／任意団体・グループ、営利／非営利、活動場所が事務所等／自宅などの別は問いません。文化芸術活動を継続的に行っている団体であればお答えいただけます。

※文化芸術活動を行っている個人の方向け調査も行っておりますので、ご協力をお願いします。「個人の方向け調査」については「調査票（個人の方向け）」または「■返送方法」に示すウェブページをご覧ください。

■回答締切は 2021 年（令和 3 年） 2 月 16 日（火）（消印有効）です。

■返送方法

・３ページ目以降を、FAX または郵送にて下記までお送りください。

FAX：011-232-4918（株式会社ノーザンクロス）
郵送：〒060-0041 札幌市中央区大通東２丁目３番地１第 36 桂和ビル７階
株式会社ノーザンクロス　札幌市文化芸術活動実態調査係

・ウェブフォーム、E メールでのご回答も可能です。詳しくは下記をご覧ください。
http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/entaku/2021tyousa.html

札幌市文化芸術活動実態調査　検索

■その他、ご回答に当たって

・ご回答は 1 団体・事業者につき 1 回にてお願いします。
・ご回答は、選択式の設問では当てはまる番号に〇印をつけてください。記述式の設問では（括弧）内に回答内容をご記入ください。
・札幌市では、文化芸術に広く関わるみなさまの具体的な現状把握や率直なご意見を集め、今後の施策の検討・実現へ反映させていくことが何より大切と考えております。
ぜひご回答・ご協力いただければ幸いです。

※ご回答したくない設問は、無回答のまま進めることができます。

・調査は無記名式で、調査結果は統計的に処理するため、団体・事業者、個人が特定される形で公開されることはございません。

■アンケート調査に関するお問合せ先

【調査業務受託者・調査票返送先】株式会社ノーザンクロス

・担当：井上、島崎
・電話：011-232-3661（※電話受付は平日 9：00～18：00 まで。なお、ノーザンクロスは新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ在宅勤務を取り入れています。担当者からの折返し電話となる可能性もございます。ご了承ください）
・FAX：011-232-4918
・E メール：bunkajittai@northerncross.co.jp

次のページからアンケートが始まります。

【調査実施者】札幌市市民文化局文化部文化振興課
〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
札幌時計台ビル 10 階
電話：011-211-2261

さっぽろ市
05-D05-20-2090
R2-5-41

まず、団体の基本情報をお聞きします。

Q１．貴団体の形態をお答えください。（○は１つだけ）

１．個人事業所　　２．株式会社・特例有限会社・相互会社
３．合名会社・合資会社　　４．合同会社
５．公益財団・社団法人　　６．一般財団・社団法人
７．特定非営利活動法人　　８．学校法人
９．宗教法人　　10．社会福祉法人・医療法人
11．法人でない団体（保存会、組合、協議会、任意団体）
12．その他（　　）

Q２．貴団体の事務所がある区をお答えください。事務所がない場合は貴団体代表者のお住まい等がある区をお答えください。（○は１つだけ）

１．中央区　　２．北区　　３．東区　　４．白石区　　５．厚別区　　６．豊平区
７．清田区　　８．南区　　９．西区　　10．手稲区　　11．札幌市外（　　）

Q３．貴団体を構成する方の種別とそれぞれの人数を教えてください。（数値を記入）

１．個人事業主	（　　人）
２．個人事業主の家族等で無給の人（※家族でも賃金・給与を受けている人は下記いずれかとしてください）	（　　人）
３．正社員・正職員（所定労働時間で働いている人）	（　　人）
４．非正規社員・非正規職員（契約社員、嘱託、非常勤、パート等）	（　　人）
５．臨時雇用者（1 か月未満の雇用者、日雇い等）	（　　人）
６．ボランティア・無給スタッフ	（　　人）
７．個人会員	（　　人）
８．その他（　　）	（　　人）

Q４．差し支えなければ、貴団体の名称を教えてください（※札幌市内にどのような文化芸術団体があるか調べさせていただくためにお聞きしています。貴団体が特定される形でご回答内容を公開したり、ご回答内容によって貴団体が不利益を被ることは一切ございません）。

（　　）

Q５．差し支えなければ、貴団体への連絡先メールアドレスをお教えください。本調査報告書の公開のお知らせ、その他札幌市市民文化局文化部からのご案内を差し上げるためにお聞きしています（※メールアドレスを他の用途に使用したり、他の札幌市部局に提供したりすることは一切ございません）。

（　　）

文化芸術分野の活動状況や制作環境についてお聞きします。

Q６．現在、貴団体が力を入れて取り組んでいる文化芸術活動について３つまでお答えください。また、それらの中で、現在、貴団体が最も力を入れて取り組んでいるものをお答えください。なお、次問以降ではここでご回答いただいた「文化芸術活動」についてお答えください。

（１）力を入れて取り組んでいる文化芸術活動
（下表から数字を３つまで記入）
（　　、　　、　　）

→

（２）中でも最も力を入れて取り組んでいる文化芸術活動（（１）から数字を１つだけ記入）（　　）

【文芸】	1．小説・戯曲・随筆等　　2．ノンフィクション・紀行・伝記等 3．詩歌（詩、短歌、俳句、川柳等） 4．評論・批評　　5．翻訳 6．その他（　　）
【音楽】	7．管弦打楽器による独奏、合奏　　8．声楽、合唱 9．指揮　　10．ピアノ、エレクトーン 11．ポップス、歌謡曲、演歌、民謡/童謡類　　12．ジャズ、即興音楽 13．HIPHOP/RAP、R&B、FUNK&SOUL、レゲエ/スカ/ロックステディ、ブラジル/ラテン 14．ロック/パンク/ハードコア、ミクスチャー、オルタナティブ、メタル、フォーク/BLUES 15．エレクトロニカ/電子音楽、EDM、ハウス&テクノ、アンビエント/ドローン、DJ 16．ノイズミュージック、インダストリアル、フィールドレコーディング 17．舞台音楽、映像音楽、施設 BGM、CM/プロモーション音楽 18．箏/琴、三味線/三線、胡弓/琵琶類、尺八/笛類、太鼓類、声明、詩吟、謡（うたい） 19．民族音楽/楽器、伝統・伝承音楽/楽器、世界各地域の音楽/楽器 20．キッズ/ファミリー、アニメ/特撮系、ゲーム音楽 21．その他（　　）
【美術】	22．絵画・版画　　23．彫刻・立体造形 24．インスタレーション　　25．写真 26．映像　　27．パフォーマンス 28．アートプロジェクト　　29．書・書道 30．その他（　　）
【工芸】	31．陶芸　　32．ガラス　　33．木工　　34．金工　　35．染織 36．宝飾　　37．人形 38．その他（　　）
【演劇】	39．現代演劇、ミュージカル、朗読劇　　40．人形劇 41．パントマイム、大道芸 42．その他（　　）

（※表は次頁に続きます）

（※表は前頁からの続きです）

【舞踊】	43．クラシックバレエ　44．モダンダンス　45．ジャズダンス 46．ストリートダンス　47．社交ダンス（スタンダード・ラテン） 48．フラダンス　49．ベリーダンス　50．日本舞踊 51．その他（　　）
【メディア芸術】	52．映画（劇映画、ドラマ、ドキュメンタリー、TV 番組など） 53．アニメーション　54．漫画 55．デジタル技術を活用した芸術表現 56．その他（　　）
【伝統芸能】	57．能楽、文楽、歌舞伎、組踊　58．講談、落語、漫才・漫談、浪曲 59．その他（　　）
【アイヌ文化】	60．歌・舞踊　61．口承伝承　62．工芸 63．手芸（刺繍・服飾等）　64．アイヌ文化全般 65．その他（　　）
【生活文化】	66．手芸　67．茶道　68．華道・フラワーアレンジメント 69．食文化　70．囲碁・将棋等 71．その他（　　）
【デザイン・建築・ファッション】	72．グラフィック・イラストレーション 73．建築・インテリア　74．プロダクト・工業デザイン 75．ファッション・服飾　76．Web デザイン・UI/UX デザイン 77．デザインマネジメント（プロデュース・コンサルティング・ブランディングなど） 78．その他（　　）
79．その他（　　）	
80．特になし	

Q7．貴団体の文化芸術活動における主な役割を、優先順位の高い順に最大２つまでお答えください。（○は２つまで）

1．創作発表（音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作〔作曲、脚本、演出、振付〕、大道芸、写真家、舞踏家、美術やメディア芸術等の作品創作・発表、その他の創作発表）
2．企画制作（プロデューサー、ディレクター、キュレーター、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作）
3．技術提供（照明技術、音響技術、舞台技術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、調律、トレーナー、通訳・翻訳、その他の技術提供）
4．施設運営（ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、貸スペース、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営）
5．教育研究（教室等の指導者、専修学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究）
6．販売（作品販売、楽器販売、ショップ、ギャラリー、古物商、プロモーション、マネージャー）
7．サポート（ボランティア、コレクター、愛好家等）
8．その他（　　）
9．上記の技能分野では２つに絞ることができない

Q８．貴団体は、現在関わっている文化芸術活動についてどのくらいの期間活動してきましたか。（○は１つだけ）

１．５年未満　　２．５年～９年　　３．10 年～19 年　　４．20 年～29 年
５．30 年以上

Q９．貴団体の創作、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究の拠点（貸し稽古場、工房、スタジオ、練習室等）はどこにありますか。（○はいくつでも）

１．札幌市内　　２．札幌以外の道内　　３．北海道以外の国内　　４．海外

Q10．2019 年、2020 年それぞれについて、貴団体が文化芸術活動の制作・練習、企画構想を行っていた場所をお答えください。（下表から数字を記入。記入はいくつでも）

（１）2019 年（　　）	（２）2020 年（　　）

１．団体が所有する事務所・工房・スペース
２．団体が賃貸する事務所・工房・スペース
３．代表者や主要メンバーの自宅　　４．有料の賃貸施設（公立）
５．有料の賃貸施設（民間）　　６．無償で使える施設（公立）
７．無償で使える施設（民間）
８．その他（　　）
９．なし

Q11．貴団体が文化芸術活動の展開、作品の発表や販売を行っている場所はどこにありますか。（○はいくつでも）

１．札幌市内　　２．札幌以外の道内　　３．北海道以外の国内　　４．海外
５．インターネット上などの各種メディア

Q12．2019 年、2020 年に貴団体が文化芸術活動の発表や作品の販売を行っていた施設・スペースをお答えください。（下表から数字を記入。記入はいくつでも）

（1）2019 年（　　）　（2）2020 年（　　）

1．劇場・ホール・美術館・ギャラリー等の文化芸術施設
2．ライブハウス・クラブ等　　3．映画館
4．区民センター等の集会施設　　5．福祉施設・障がい者支援施設等
6．病院等の医療施設　　7．学校等の教育施設
8．飲食店　　9．商店街・商業施設
10．宿泊施設　　11．公園・野外
12．書籍・雑誌・フリーペーパー等の紙媒体
13．ラジオ・テレビ　　14．ウェブ・動画配信
15．その他（　　）
16．なし

Q13．2019 年、2020 年に貴団体が行った文化芸術活動の発表形態ごとの発表等の回数をお答えください。（数値を記入。発表等をしなかった場合は「5．なし」に○）

発表形態	2019 年	2020 年
1．公演・展覧会・上映会等	（　　回）	（　　回）
2．ワークショップ	（　　回）	（　　回）
3．レクチャー・講演会	（　　回）	（　　回）
4．その他（　　）	（　　回）	（　　回）
	5．なし	5．なし

Q14．2020 年に貴団体はオンラインでの発表を行いましたか。行った場合はその回数をお答えください。（○は 1 つだけ）

1．行った→（　　回）　　2．行っていない

Q15．1 週間当たり、貴団体が文化芸術活動に関わった時間を、2019 年と 2020 年についてお答えください。（数値を記入）

（1）2019 年（約　　時間/週）　　（2）2020 年（約　　時間/週）

Q16. 普段、どのような媒体で文化芸術活動の発表や、作品の販売等について情報発信していますか。（○はいくつでも）

1．ホームページ・ブログ　2．メールマガジン　3．Facebook
4．Twitter　5．Instagram　6．LINE
7．TikTok　8．YouTube　9．テレビ
10．ラジオ　11．新聞　12．ポスター・チラシ・DM 配布
13．雑誌・フリーペーパー　14．その他（　　）
15．特になし

Q17. 貴団体が札幌市から助成金や補助事業等に関する情報発信を受け取る場合、どのような媒体を望みますか。（○はいくつでも）

1．広報さっぽろ　2．市の公式ホームページ　3．Facebook
4．Twitter　5．Instagram　6．LINE
7．TikTok　8．YouTube　9．テレビ
10．ラジオ　11．新聞
12．市の施設等へのポスター・チラシ設置　13．フリーペーパー等への掲載
14．その他（　　）
15．特になし

文化芸術活動による収入等についてお聞きします。

Q18. 貴団体の 2019 年と 2020 年における文化芸術活動による収入・売上の額と、文化芸術活動のために支出した金額（経費）をお答えください。ない場合は 0（ゼロ）を記入してください。（数値を記入）

年	収入・売上	経費
2019 年	（約　　万円/年）	（約　　万円/年）
2020 年	（約　　万円/年）	（約　　万円/年）

Q19. 貴団体が文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。（○はいくつでも）

1．チケット収入や作品の売り上げ　2．公的・民間の助成金・補助金
3．自治体等からの委託費　4．企業協賛金
5．文化芸術活動以外の事業収入（貯金、家賃などの不労所得を含む）
6．出演料、講師料、振付料、作曲料、原稿料等
7．金融機関、消費者金融からの借金等　8．構成員からの会費
9．代表者や主要メンバーの自己負担
10．その他（　　）
11．なし

Q20. 2019 年度と 2020 年度に、団体として申請した文化芸術活動関連の助成金・補助金はありますか。ある場合はその申請件数と採択件数をお答えください。（○は 1 つだけ）

（1）2019 年度

1．ある→申請件数（　　件）→採択件数（　　件）

2．ない

（2）2020 年度

1．ある→申請件数（　　件）→採択件数（　　件）

2．ない

Q21.【2020 年度に文化芸術活動関連の助成金・補助金を申請した団体・事業者のみお答えください】文化庁による「文化芸術活動の継続支援事業」B（小規模団体向け〔上限 150 万円〕）の申請の有無についてお答えください。

1．申請した　　2．申請していない

Q22.【2019 年度、2020 年度に文化芸術活動関連の助成金・補助金を申請しなかった団体・事業者のみお答えください】助成金・補助金を申請しなかった理由はなんですか。（○はいくつでも）

1．情報を知らなかった

2．当団体の活動に適した助成金・補助金がなかった

3．申請の手続きが難しかった・面倒だった　　4．忙しくて申請する時間がなかった

5．報告する際の提出資料が多かった　　6．助成金に興味がなかった

7．必要がなかった

8．その他（　　）

9．特に理由はない

Q23. 貴団体は、文化芸術活動の資金調達のため、クラウドファンディングに取り組んだことはありますか。2019 年、2020 年それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ 1 つだけ）

（1）2019 年

1．ある　　2．検討したが行ったことはない　　3．検討したことはない

（2）2020 年

1．ある　　2．検討したが行ったことはない　　3．検討したことはない

文化芸術活動に関する課題についてお聞きします。

Q24．貴団体が文化芸術活動を行うに当たって、不足している・課題だと感じていることをお答えください。（○はいくつでも）

【場・機会】	1．制作や練習の場所　2．インフラ・設備機器 3．発表の場・機会 4．専門性・技術向上のための育成プログラム 5．文化芸術に関する広い学びの場・機会 6．交流・出会いの場・機会　7．広報・告知・情報発信の場・機会 8．相談の場・機会　9．収入を得るための場・機会
【人材】	10．プロデュースする人　11．ディレクションする人 12．マネジメントする人（広報・PR・マーケティング・営業等） 13．賛同者・理解者　14．経済的支援者・協力者 15．スタッフ・一緒に活動する人　16．後継者 17．批評家・評論家・研究者　18．記録・編集の専門家 19．法律・法的問題について相談できる専門家
【資金】	20．制作や練習の資金　21．発表の資金 22．PR や広報の資金 23．日常的な活動経費（材料費、人件費、旅費、場所の使用料・賃料、管理費等） 24．リサーチ・公演や制作方法の検討・準備の経費 25．スキルアップ（研修・交流含む）の経費 26．設備・機材等の投資資金　27．記録・アーカイブの作成費
【コロナ関連】	28．感染予防に関する知識・ノウハウ、ガイドライン提示 29．感染予防のための設備・用品 30．文化芸術関連の感染症対策専門家
31．その他（　　）	
32．困っていることはない	

文化芸術活動に対する意識等についてお聞きします。

Q25．貴団体が文化芸術活動を続けている・行っている理由はなんですか。（○はいくつでも）

1．趣味や余暇活動の充実、生き甲斐の創出
2．アイデンティティの形成や自己肯定感の向上
3．自己表現及びコミュニケーション能力の拡大
4．人との交流、相互理解や関係を築く
5．経済活動として取り組んでいる
6．日常生活に新たな視点がもたらされる
7．その他（　　）
8．特に理由はない

Q26. 文化芸術が社会にもたらす効果として、どのようなことを期待しますか。（○はいくつでも）

1．地域社会・経済の活性化　　2．新産業の創出
3．人々が生きる楽しみを見出せる　　4．地域への愛着を育むこと、コミュニティ再生
5．地域のイメージの向上　　6．観光客の増加
7．人々の創造性の向上　　8．子どもの豊かな心の育み
9．高齢者の社会参加・交流機会の拡大　　10．障がい者の活躍の場の創出
11．多様な価値観を理解し支え合う共生社会
12．国際交流の促進　　13．健康の増進
14．他の文化芸術領域・社会分野の活動との連携機会の創出
15．政治や社会に対する問題提起
16．その他（　　）
17．特にない・わからない

Q27. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」は何ですか。また、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」は何ですか。4～5 頁の Q6 の表から数字を選んでご記入ください。（記入はいくつでも）

（1）現在、接点・関わりのある「他の文化芸術分野」
（　　）
（2）今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「他の文化芸術分野」
（　　）

Q28. 貴団体が行っている文化芸術活動に関して、現在、接点・関わりのある「社会分野」は何ですか。また、今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」は何ですか。（記入はそれぞれいくつでも）

（1）現在、接点・関わりのある「社会分野」
（　　）
（2）今後、接点・関わりを持ちたいと思っている「社会分野」
（　　）

1．観光	2．国際交流
3．多文化共生（在留外国人との交流等）	4．教育
5．医療	6．社会的包摂
7．SDGs	8．経済・産業
9．障がい福祉	10．スポーツ・健康増進
11．子育て	12．高齢者福祉
13．まちづくり・地域コミュニテイの活性化	14．環境
15．IT	16．ゲーム関連
17．農業	18．林業
19．水産業	20．食
21．報道・言論	
22．その他（　　）	
23．特になし	

Q29.【Q27、Q28 で「今後、『他の文化芸術分野』や『社会分野』と接点・関わりを持ちたい」と回答した団体・事業者にお聞きします】接点・関わりを持ってやってみたいことはどのようなことですか。自由にお書きください。

Q30．貴団体にとって、異なる文化芸術分野間の連携や、文化芸術と社会分野の連携を推進していくために、どのような課題があると思いますか。（○はいくつでも）

１．コーディネーター（繋ぐ人、導く人など）がいない
２．連携のための助成金・補助金がない
３．異分野間をつなぐ仕組みがない
４．他分野の情報や知り合いがない
５．連携のためのアイディアがない
６．可能性を感じるが行動の仕方がわからない
７．自団体の分野の活動に手一杯で、他分野と連携する余裕がない
８．その他（　　）
９．特に課題はない

Q31．札幌市の文化芸術施策に求めること・期待すること、文化芸術施設の利用や、助成金・補助金に関する課題等があればお書きください。

（　　）

これでアンケート調査は終了です。ご協力、ありがとうございました。